

区別計画策定に向けた検討シート（東区）

1 区の概況

人口・世帯	<ul style="list-style-type: none"> 人口は95,604人（H27国勢調査速報値）で本市の13.3%を占めており、4区の中で最小。平成22年国勢調査から1.4%減少しており、4区の中で唯一、人口減少期に突入。 人口密度は595.6人/km²と4区の中で最も低い（H27国勢調査速報値）。 高齢者人口比率は25.2%（H22年国勢調査）と4区の中で最も高く、今後大きく上昇することが見込まれている。 一方、一世帯当たりの人員数は、2.65人（H27国勢調査速報値）と4区の中で最も多く、単独世帯は4区の中で最も少ない。
地勢・都市環境	<ul style="list-style-type: none"> 東区は本市南東部に位置しており、面積は160.53km²と本市の約20%を占める。 区域を一級河川の吉井川が貫流し、中央には芥子山、南は児島湾、瀬戸内海に面し、沖合には市内唯一の有人離島である犬島がある。 吉井川、百間川の河口一帯には、干拓による広大で豊かな農地が広がり、良好な自然景観を形成。また、児島湾や瀬戸内海沿岸、吉井川等の貴重な水辺環境が形成されている。 土地利用状況では、田、畠の占める割合が高い。 西大寺地域は、東備地域の中心地であり、吉井川河口の港町として、また西大寺観音院の門前町として発展した経緯から、商業機能等が集積。 臨海部や新産業ゾーン、瀬戸地域や上道地域に工場が集積し、国道250号の沿道には在来型軽工業や船舶プロペラ、電気機械器具製造の大型工場、瀬戸地区にはビール工場などが立地し、本市製造業の中核を担っている。 東区役所や西大寺緑花公園に隣接して複合商業施設があり、多くの人に利用されている。県道岡山牛窓線、上道地区において市街化が進展。 瀬戸地域は、平成19年の合併により区域に加わり、山陽自動車道へのアクセス性から数多くの企業が進出し、県南都市圏の近郊住宅地としても発展。 道路は、外環状線の整備を進めているほか、瀬戸地域では、山陽自動車道と接続する美作岡山道路瀬戸ICを整備中。
地域資源	<p>歴史文化伝統</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年3月に国の重要無形民俗文化財に指定された西大寺会陽（はだかまつり）は、500年以上の歴史を誇り、約9千人のまわし姿の男たちにより宝木（しんぎ）の争奪戦を繰り広げる。 西大寺の門前町として栄えてきた五福通りの歴史的建物群や、国指定史跡の大廻小廻山城跡をはじめ万富東大寺瓦窯跡、西大寺観音院、藤井の宿などの歴史・文化的資産が数多く残されている。 津田永忠による幸島新田・沖新田開発の歴史に残る業績があり、また、乙子城跡、沼城跡など、備前国の近世社会への扉を開いた宇喜多氏ゆかりの遺跡が存在。
	<p>自然景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 犬島は、犬島精練所美術館や瀬戸内国際芸術祭を契機に観光地として脚光をあびている。 五福通り周辺は、伝統的な建造物群によるレトロな景観が評価され、映画やドラマのロケ地となっている。 豊地区的ダルマガエル、瀬戸地区的アユモドキ、大宮地区的ホタルなど、希少な生物が生息し、各地域で保全活動が行われている。
	<p>特産品</p> <p>農産物：上道・古都地区のニューピオーネ、雄神地区のあたご梨、上南地区的いちご、瀬戸地区的太秋柿・桃 海産物：朝日・九幡地区的海苔</p>

区別計画策定に向けた検討シート（東区）

公共施設	<ul style="list-style-type: none">・区域の中心部に整備された東区役所、東消防署、東水道センターに隣接して、西大寺緑花公園と体験学習施設である百花プラザがある。・上道地域には、農業公園として整備された三徳園がある。・瀬戸地域には、野球場やテニスコートを備えた瀬戸町総合運動公園がある。・犬島には、自然の家、キャンプ場、海水浴場がある。
主な市の出先機関	<ul style="list-style-type: none">・東区役所・1支所（瀬戸）・1地域センター（上道）・東区福祉事務所・東区保健センター・7公民館（旭東、西大寺、山南、上道、上南、瀬戸、万富）